

選択と集中で 元気な下呂市を

平成二十三年の新春を市民の皆様には清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、岐阜県では全国豊かな海づくり大会が開催され、森・川・海のつながりの大切さが全国に発信されました。（今年は国際森林年です）二十一世紀は環境の時代といわれる中で、これからの日本は、農地・森林を守り育てることが住み良い環境づくりに大きく貢献することとなります。しかし、国においてはTPP参加の議論が行われており、日本の農業をいかに守り発展させる政策が示されるのかが注目するところです。下呂市にお

いても、緑豊かな自然を健全に保つていくことが観光立市につながっていきます。

合併から八年目を迎えますが、今、日本全体で地方の活力が失われており、下呂市を取り巻く情勢も依然、厳しいものがありますが、行財政改革（選択と集中）を誠心誠意、推し進めながら、持続可能で元気な下呂市を目指してまいります。

今年は卯年です。うさぎのように元気よく飛躍できるような年になること、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念しまして、新年のご挨拶といたします。



下呂市長
野村 誠



今年

うさぎどし
卯年

今年は卯年。十二支の四番目のうさぎ年です。卯は東の方角、また「卯の刻」といえば、午前六時ごろを指します。

うさぎは、ウサギ科の哺乳類です。うさぎという耳が長く、目が赤く、毛は白、ピョンピョンと跳ねる動物を思い浮かべますが、これはわたしたちがよく見る日本白色種で、ほかにも多くの種類があります。毛が白黒（または白茶）でパンダウサギとも呼ばれているダッチ、耳の下がったロップイヤール、耳の短いピーターラビットなどです。

うさぎを数えるとき、一匹、二匹と言わずに一羽、二羽と言います。これは昔、獣肉食が禁止されていた時代、大きく長い耳の形状が鳥の羽を連想させることから「ウサギは獣ではなく鳥だ」と見

身近な議会を 目指して



下呂市議会議長
大前武憲

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、

心も新たに希望に満ちた新春をお
迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、岐阜県において全国豊
かな海づくり大会が開催され、森
林資源の多面的機能を守る中山間
地域の重要性が再認識される一方
で、地方経済は長引く不況の影響
により、市の観光客数も伸び悩み、
雇用情勢や財政状況は厳しくなっ
てきております。

本年は、市民の皆様が安心して
暮らせる地域医療体制の整備とし
て、市立金山病院新築工事が始ま

りますが、一方では新ゴミ処理施
設の建設、高齢化対策、産業振興
対策など地域活性化を図るための
重要課題も数多く山積しております。

議会では昨年設置した議会改革
特別委員会を中心に市民の皆様の
信頼に応えられる議会活動、議員
活動を進めるため真摯な議論を通
し、市民の皆様にも身近な議会とな
るよう努力していく所存でありま
す。

この一年が、市民の皆様にとっ
て実り多き一年となることをお祈
り申し上げ、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

清流馬瀬川（馬瀬黒石）

なして食肉としていたとする説
や獲物は耳を束ねて持ち歩き、
一掴みにすることを一把（いち
わ）、二把（にわ）と数えたこ
とから後の羽（わ）につながっ
たとする説などがあります。

だれもが知っているうさぎの
話といえば、「うさぎとカメ」
です。うさぎとカメが向こうの
山まで、どちらが先に行けるか
競走します。早いうさぎは、カ
メがのろいを見て途中で油断
して昼寝をしまいます。そ
の間にカメがゴールするという
お話で、地道に努力すれば必ず
成功するという教訓です。もう
一つ、日本の昔話で有名なのが
「カチカチ山」です。この話に
はちょっと残酷なシーンもある
ので、最近ではあまり語り継が
れていないようです。

うさぎは悪役だったり、英雄
だったり、だましたり、だまさ
れたり、いろいろな役回りを
こなしています。

今年も新しい幕が開きまし
た。新たな目標に向かって、う
さぎのようにホップ・ステップ・
ジャンプと頑張りましょう。